

Harvest Times

ハ ー ヴ ェ ス ト タ イ ム ス

“粋な町”江戸に思いを馳せ
現代の“品格の都市”
日本橋を巡る

現代版「熙代勝覧」絵巻を

きだいししょうらん

目指すまちづくり

熙代勝覧 複製絵巻

日本橋地域ルネッサンス1000年計画委員会と名橋「日本橋」保存会は、日本橋の歴史・文化を後世に伝える貴重な作品として熙代勝覧を複製し、東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」コンコースの壁面に設置。全長17メートルにおよぶ複製絵巻は、絵巻の部分約1.4倍に拡大したもので絵巻を展示するパネルには、解説文が書かれている



家康によって架けられた初代日本橋から数えて現在の橋は第20代目。石造り二重アーチの西洋式の橋になってから100年目を迎える。そんな日本橋エリアでのまちづくりやイベント活動の中心の一つとなっているのが、日本橋地域ルネッサンス1000年計画委員会。その企画委員長の山柘勝彌氏に話を伺った。

「日本橋はこれまで日本の経済・金融・商業・物流・文化の中心地として発展してきました。これからの日本橋は、その歴史を踏まえ、将来に向かって新しいまちづくりを進めていきたいと思っています。そのキーワードは「水と緑の回廊」。もともと日本橋は舟運で栄えましたから、再

び水辺の日本橋を復活させたいと考えています。その第一歩として橋の袂に船着場が設置されました。江戸時代の隅田川風物図巻に描かれているように、ここから浅草へ舟で行き来できるようになります。また緑の回廊とは道のことで。日本橋には東京の玄関とも言える八重洲、金融ビジネスの兜町、エンターテインメントの人形町、商業の室町、ファッションタウンの横山町など個性的な町が多くあります。それぞれの地域が水と緑で繋がり、一体感のあるエリアとして日本橋文化を発信していくことができれば素晴らしいと思います。熙代勝覧に描かれているような賑やかな通りが再び日本橋に戻っ

てくる。そんなまちづくりを目指しています。」

日本橋地域には、江戸時代から長年培われてきた町の文化、地域のコミュニティ、歴史的な建造物など、数多くの歴史的資産が残っている。これらの貴重な資産を次の時代に継承するとともに近代化や経済至上主義の中で失われてしまった、自然との共生、モノとの共生、人との共生という生活スタイル、人々とのふれあいなど江戸の町が持っていた品格を蘇らせ、新たな価値を創っていくまちづくりを期待したい。



昨年、補修工事が行われた日本橋。基礎部分からは、1000年前に詰められたレンガが見えられ関係者を驚かせた

「お江戸日本橋舟めぐり」とは。

日本橋の袂に新設された船着場から、日本橋界隈のクルージングが楽しめる。外堀の石垣や舟運の面影など川から見る風景はひと味違って見えるはず。日本橋川・隅田川・亀島川

をめぐると日本橋川コースのほか、神田川コース、小名木川コースなどが用意されている。

※日本橋織音にて、お江戸日本橋舟めぐりをお楽しみいただけるイベントを開催しております。ぜひご参加ください。

日本橋地域ルネッサンス1000年計画委員会が描く水辺の空間を活かした日本橋の未来予想図

日本橋地域ルネッサンス1000年計画委員会企画委員長を務める、
山柘勝彌さん



老舗のこだわり
食べごろのフルーツに舌鼓

千疋屋 フルーツパーラー



むさしのくに さいたまぐん せんびき
1834(天保5)年に武蔵国埼玉郡千疋の郷で、槍術指南をしていた侍弁蔵が日本橋葺屋町に「水菓子安うり処」の看板を掲げ果物を商う店を構えたことに始まる千疋屋の歴史。明治初年には現在本店のある日本橋室町に移転し「果物の千疋屋」として知られるようになった。食べごろが短いフルーツをおいしい状態で提供できる目を持ったスタッフによる「トロピカルパフェ」(1,575円)は絶品。食べごろのパイアヤ、マンゴーなどの濃厚な味わいと爽やかなキウイフルーツソース、パッションフルーツソースを合わせたパフェ。散策の途中の休憩に最適な一品だ。



【住所】東京都中央区日本橋室町2-1-2日本橋三井タワー内
【電話】03-3241-1630
【営業時間】11:00~22:00(日曜・祝日11:00~21:00)
【定休日】年中無休
【URL】<http://www.sembikiya.co.jp/>

江戸から明治の
東京にタイムスリップ

江戸東京博物館



JR総武線「両国駅前」の国技館の隣に立つ高床式のユニークな外観の建物が「江戸東京博物館」。江戸から東京に至るまでの400年の歴史と文化を展示している。館内には江戸時代の日本橋を復元した木造の橋をはじめ、江戸ゾーンには、芝居小屋中村座の実物大復元模型などスケールの大きな展示物が目を引く。また東京ゾーンには明治時代の朝野新聞社が復元され文明開化の風情や関東大震災、東京大空襲の展示など近代東京の歩んできた歴史を展示している。

【住所】東京都墨田区横網1-4-1 【電話】03-3626-9974
【営業時間】9:30~17:30(入館は17:00まで)
【休館日】月曜(祝日あるいは振替休日の場合は翌日)。
国技館大相撲本場所開催中は閉館
【観覧料】600円(中高校生300円、学生480円、65歳以上300円)
※小学生、都内在住・在学の中学生は無料
【URL】<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>

江戸の賑わいが描かれた1冊



活気にあふれた江戸の町
『熙代勝覧』の日本橋
128ページ(小学館) 1,995円



いまから200年前の1805(文化2)年の日本橋から今川橋までの通りの様子を生きたぎと詳細に描いた12メートルにおよぶ絵巻『熙代勝覧』。この絵巻を丁寧に解説・分析したこの本の著者は近世の風俗・文化・美術に詳しい小澤弘氏と小林忠氏。描かれた人々の姿や仕草から職業や会話までもが読み取れるという。江戸時代ならではの風俗を知ったり、現代にも通じる人々の行動に共感したりと、この本一冊で『熙代勝覧』が何倍も楽しめるだろう。

日本橋を巡るモデルコース



お江戸日本橋舟めぐり

織音でのランチ後に日本橋船着場より出発する、江戸・東京の歴史や風土に触れる船旅へご案内いたします。日程ごとに各コースをご用意いたしました。お好みでお選びください。

- 9/1(木) 小名木川コース
- 9/2(金)、9/3(土)、9/5(月) 日本橋川コース
- 9/14(水) 神田川コース

【旅行代金】8,300円(昼食代・乗船代込)
【募集人員】9名 ※1組2名様まで
【締切】7/25(月) 必着
※P42も合わせてご覧ください
(旅行企画・実施)
株式会社 東急リゾートサービス

